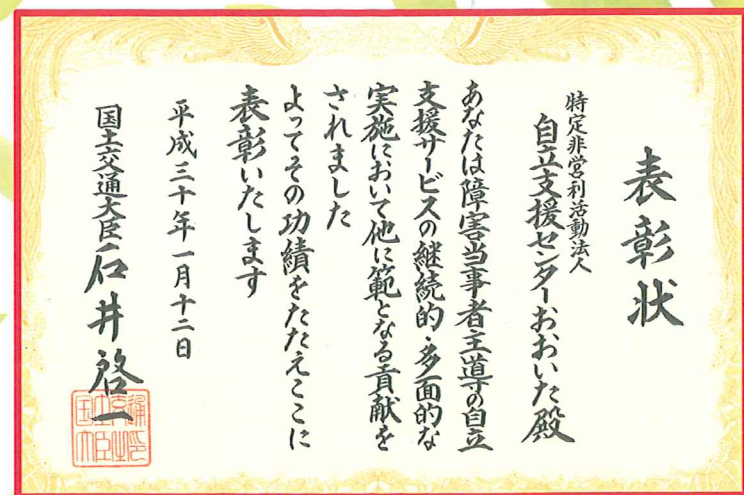


NPO法人 自立支援センターおおいた

第11回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰受賞



国土交通省では、平成18年12月施行の「バリアフリー法」（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）の趣旨を踏まえ、公共交通機関、建築物、道路などのバリアフリー化を進めるとともに、国民の意識啓発に一層努めることとしております。このため、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、バリアフリー化に関する優れた取組みを広く普及させるとともに、これらの諸活動を奨励することを目的として、「国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰制度」を平成19年度に創設しました。



石井 啓一 国土交通大臣



平成30年1月12日 国土交通省にて
プレゼンテーション

(受賞団体)

- 日本航空株式会社/ 日本エアコミューター株式会社
小型機へのストレッチャー搭載の実現 等による離島航空路線のバリアフリー化、食物アレルギーツアーの企画等によるユニバーサルツーリズムへの積極的な取組
- 札幌市交通局
乗降場のバリアフリー化、マナー教育の徹底等ハード・ソフト一体となったバリアフリーの実現
- 大阪市交通局
ホームドア整備にあわせた既存路線における車椅子使用者の単独乗降の実現
- 鳥取県/日本財団/ 鳥取県ハイヤータクシー協会
官民一体となった先駆的なタクシーのバリアフリー化
- NPO法人 自立支援センターおおいた
障害当事者による多面的な自立支援サービスの提供

◆バリアフリーマップの作成



別府市を中心に観光地、ショッピング、飲食店、温泉、公園、交通機関、その他の施設のバリアフリーマップを作成しホームページで公開している。

◆バス運転手を対象としたバリアフリー研修



障がい者と事業者の歩み寄りを図る事を目的に、運転手を対象とした研修を行っている。研修内容は、障がい当事者と一緒に実際のバス停を廻りながら、各バス停における注意点を示しながら車いすのバス乗降の研修を行う。

◆ユニバーサルデザイン出前授業



小さな子供の頃からユニバーサルデザインに関して知ってもらう事が目的で、県と連携しながら基本的には全校生徒を対象としている。授業内容は、小学校等に出向き自己紹介の後、県の職員がユニバーサルデザインについての説明を行った後、当センタースタッフが車いすユーザーの自家用車への乗降の様子をDVDで説明し、当事者の目線での障がい者等用駐車場の重要性を話し、続いて体験学習を行い、福祉車両、車いすを使っている体験乗車を行っている。

◆バリアフリー探検



公共施設等の設備が障がい者の利用に支障がないかを実際を使用して調査する。「啓発」と「実務」を目的とし、「啓発」では健常者の人と一緒に取り組むことにより関心を持ってもらうとともに「人づくり」にも繋がらせ、「実務」では本当に困っているところを調査し、市や県の担当部署に調査内容を報告している。

◆ユニバーサルデザインコンサルタント



旅客施設、宿泊所等についてバリアフリー、ユニバーサルデザインのコーディネートを有料で実施し、その結果に基づき入浴施設や通路の改修を行い、利用者に喜ばれている。

◆「fix Mystreet」を用いたバリアフリー調査



fix Mystreetとは市民と行政が協力し、道路の破損、落書き、街灯の故障、不法投棄などの地域・街の課題をスマートフォン使用により解決・共有していくための仕組みこの仕組みを利用し官民協働した街歩きイベントを実施、誰もが動きやすい街づくりに貢献している。

◆バリアフリーツアーセンターの開設（別府・大分、湯布院、宇佐）



障害者・高齢者が安心して観光を楽しんでいただけるよう、パーソナルバリアフリー基準を用いた調査を実施し情報発信・提供。